



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年11月14日

上場会社名 株式会社ASNOVA 上場取引所 名
 コード番号 9223 URL <http://www.asnova.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上田 桂司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 加藤 大介 TEL 052-589-1848
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,463	—	△9	—	1	—	△6	—
2022年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△4.02	—
2022年3月期第2四半期	—	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,322	2,659	36.3
2022年3月期	5,658	2,400	42.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 2,659百万円 2022年3月期 2,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期	—	7.00	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,198	19.4	224	34.7	242	△15.7	154	△24.5	100.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想の修正については、本日 (2022年11月14日) 公表の「2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	1,539,900株	2022年3月期	1,362,900株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	—株	2022年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	1,521,522株	2022年3月期2Q	1,362,900株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が徐々に緩和される中で、緩やかな景気の持ち直しがみられました。一方で、ウクライナ情勢の長期化等の影響を受けたエネルギー価格や原材料価格の高位な推移や、各国の中央銀行が実施した利上げを受けた急激な円安進行等による消費者物価への影響の懸念など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。また、当社の業績に影響を与える国内建設業界におきましては、公共投資は引き続き堅調に推移し、民間投資については持ち直しの動きが見られるものの、建設資材価格の高騰や世界的な景気後退リスクへの不安等が当社経営環境への影響を及ぼす可能性があり、注視が必要な状況であります。

このような状況のもと、当社におきましては、仮設機材のレンタルから販売に至るまでワンストップで行えるサービスの強みを活かし、引き続き顧客満足度の向上に取り組んでまいりました。当第2四半期累計期間においては鋼材価格の影響等により仮設機材価格が高騰し、仮設機材レンタルの需要が高まりました。当社におきましては、需要に応えるべく賃貸資産への積極的な投資を実施いたしました。以上の結果、売上高1,463百万円、営業損失9百万円、経常利益1百万円、四半期純損失6百万円となりました。

なお、当社はレンタル関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、7,322百万円となり、前事業年度末と比べ1,663百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金の減少424百万円、新規機材センターの出店及び賃貸資産へ積極的に投資を行ったことによる有形固定資産の増加1,791百万円等によるものであります。

負債合計は、4,662百万円となり、前事業年度末と比べ1,404百万円増加いたしました。この主な要因は、未払法人税等の減少129百万円、買掛金の増加346百万円、賃貸資産の取得等に備えた1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金の増加927百万円等によるものであります。

純資産合計は、2,659百万円となり、前事業年度末と比べ259百万円増加いたしました。この主な要因は、ブックビルディング方式による新株発行により資本金及び資本準備金がそれぞれ132百万円増加したこと、四半期純損失6百万円を計上したことによる利益剰余金の減少6百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、直近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2022年11月14日）公表の「2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	750,350	326,176
受取手形及び売掛金	393,746	530,559
商品	15,742	7,611
未成工事支出金	3,292	3,781
貯蔵品	1,671	2,834
その他	108,466	211,313
流動資産合計	1,273,269	1,082,276
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産(純額)	2,190,142	3,802,974
土地	1,624,420	1,685,922
その他(純額)	418,749	535,750
有形固定資産合計	4,233,312	6,024,647
無形固定資産	35,043	39,101
投資その他の資産		
その他	156,092	215,377
貸倒引当金	△39,494	△39,247
投資その他の資産合計	116,598	176,130
固定資産合計	4,384,953	6,239,880
資産合計	5,658,223	7,322,156
負債の部		
流動負債		
買掛金	61,926	408,053
短期借入金	600,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	806,986	1,019,926
未払金	71,031	115,916
未払法人税等	137,231	7,458
賞与引当金	32,728	37,677
その他	47,406	36,672
流動負債合計	1,757,310	2,425,706
固定負債		
長期借入金	1,464,097	2,178,559
資産除去債務	17,271	32,514
その他	19,000	25,517
固定負債合計	1,500,368	2,236,591
負債合計	3,257,678	4,662,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,017	220,732
資本剰余金	306,668	439,383
利益剰余金	2,005,858	1,999,744
株主資本合計	2,400,544	2,659,859
純資産合計	2,400,544	2,659,859
負債純資産合計	5,658,223	7,322,156

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,463,579
売上原価	1,131,317
売上総利益	332,262
販売費及び一般管理費	341,641
営業損失(△)	△9,379
営業外収益	
足場資材売却益	17,207
その他	5,707
営業外収益合計	22,915
営業外費用	
支払利息	5,703
株式交付費	5,603
その他	352
営業外費用合計	11,658
経常利益	1,877
税引前四半期純利益	1,877
法人税、住民税及び事業税	2,682
法人税等調整額	5,309
法人税等合計	7,991
四半期純損失(△)	△6,114

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,877
減価償却費	549,605
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,948
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△246
支払利息	5,703
足場資材売却益	△17,207
売上債権の増減額 (△は増加)	△136,480
棚卸資産の増減額 (△は増加)	6,477
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,652
未払金の増減額 (△は減少)	12,006
前受金の増減額 (△は減少)	△13,080
その他	△156,774
小計	262,481
利息及び配当金の受取額	2
利息の支払額	△4,640
法人税等の支払額	△132,455
営業活動によるキャッシュ・フロー	125,388
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,943,763
有形固定資産の売却による収入	17,207
敷金の差入による支出	△6,129
敷金の回収による収入	114
その他	389
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,932,181
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000
長期借入れによる収入	1,400,000
長期借入金の返済による支出	△472,598
株式の発行による収入	265,429
リース債務の返済による支出	△10,212
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,382,618
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△424,174
現金及び現金同等物の期首残高	750,350
現金及び現金同等物の四半期末残高	326,176

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年4月21日に名古屋証券取引所ネクスト市場に上場いたしました。上場にあたり、2022年4月20日を払込期日とする公募増資（ブックビルディング方式による募集）による新株式177,000株の発行により、当第2四半期累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ132,714千円増加しております。この結果、当第2四半期会計期間末において資本金が220,732千円、資本準備金が210,732千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、レンタル関連事業の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。